

超長期熟成型リコーダー・デュオ

赤坂 泰志 & 村雲 雅志

名曲シリーズⅡ・リコーダーの旅は道連れ

最盛期バロック音楽

トリオソナタ周遊

with

岩淵 恵美子 チェンバロ

譜久島 譲 ヴィオラ・ダ・ガンバ

広重 真人 バロックヴァイオリン

● A. コレツリ

ソナタ ト短調 op.5-5

● G.P. テレマン

リコーダー、ヴァイオリンと通奏低音のためのトリオソナタ ニ短調

リコーダー、ヴィオラ・ダ・ガンバと通奏低音のためのトリオソナタ ヘ長調

● G. サンマルティーニ

2本のリコーダーと通奏低音のためのトリオソナタ 第6番 ニ短調

● 二橋 潤一

フランス組曲（2024年委嘱・2本のリコーダーとチェンバロ版初演）ほか

●あかさかやすし

釧路市生まれ。春採中学校でリコーダーアンサンブルを始め、沼にハマる。中学校で、村雲雅志との二重奏で全国3位、釧路湖陵高校ではリコーダー四重奏で全道最優秀賞などを受賞。大学ではバロック演奏研究会代表を務め、17世紀、18世紀などの復元楽器を使った古楽演奏を始める。バロックオーガンを故 本間正史氏に師事し、古楽演奏の多くを学ぶ。本村睦幸、花岡和生、大竹尚之、濱田芳道の各氏にリコーダーの指導を受ける。多くのバロック、ルネサンス音楽アンサンブルに参加。一時活動を休止したが、2022年に釧路にUターンしたのを機に演奏を再開。

●むらくもまさし

釧路市音別町尺別生まれ。中学校・高校を通じて赤坂泰志とともに活動。大学在学中に古楽器演奏に耽溺し、山岡重治（リコーダー）、故 千成千徳・宇田川貞夫（ヴィオラ・ダ・ガンバ）、岩淵恵美子（チェンバロ、通奏低音）、大道和世（声楽）各氏らに学ぶ。1986年 リコーダーで、Early Music Consortに参加、道内各地で演奏活動を行なった。1998-2001「札幌古楽の夏音楽祭」スタッフ。その後 釧路へ戻り、リコーダーの演奏・指導、合唱など、さまざまな音楽活動を展開。2010年、木下太陽氏・広重真人氏と「バロックトリオ・クイン」を結成。2015年 釧路音楽協会高後賞・釧新郷土芸術賞受賞。

2024年9月15日（日）14時開演（13時30分開場）

● 入場料 ¥2,500（限定70席） 大学生以下無料

ホール・アンクラージュ

釧路市緑ヶ岡6丁目14番15号 *駐車場に限りがあります

ご予約／お問い合わせ：090-2056-3319, mkumo0925@outlook.jp

